



2013健康づくりフェスティバル

10月12日、中野保健センターを会場に「2013健康づくりフェスティバル」を開催しました。当日は、健康に関する展示をはじめ、各種相談や測定のほかストレッチの体験コーナーなどが設けられました。また、「歩き方が変われば人生が変わる！」と題した講演会では、信州大学大学院の能勢博教授から、速歩きとゆっくり歩く運動を繰り返す「インターバル速歩」が生活習慣病予防に効果的であることを語っていただきました。来場された皆さんは、各コーナーを楽しみながら健康づくりを学んでいました。



認知症を考える会

10月6日、豊田文化センターにおいて「認知症を考える会」を開催しました。当日は、認知症ケアの第一人者であり、(株)大起エンゼルヘルプクオリティマネージャーの和田行男さんが「認知症の人を支える～それぞれの立場での支え方～」と題し、介護の最前線で奮闘する実体験に基づくお話をいただきました。独特の語り口で話しかける和田さんの講演に、参加された皆さんは認知症について改めて考える機会となりました。



「故郷のふるさと」 商標使用権許諾契約調印式

10月23日、市とNPO法人長野県ビジネス支援研究所は、同研究所が商標として登録した「故郷のふるさと」の使用に関する権利を市に許諾する契約を締結し、その調印式を行いました。

これは、地域活性化に取り組むNPO法人など5団体から、日本を代表する唱歌「故郷」を生かすことで中野市を盛り上げていく提案があり行われたものです。今後、地域ブランドの強化や中野市産農産物などのPRに活用していく予定です。



なかの巡りEYEウォーク

10月12日、秋の中野市を満喫するウォーキングイベント「第5回なかの巡りEYEウォーク」を開催し、188人の皆さんが参加しました。当日は、果物狩りも楽しめる「中山晋平を訪ねるコース」、「十三崖・谷蔵寺パノラマコース」の2コースをはじめ、地酒の試飲を楽しめる「酒蔵めぐりコース（写真①）」、中野立志館高等学校の生徒が企画し指定された場所で写真撮影を行う「親子でウォーキングコース（写真②）」の全4コースに分かれ、中野市内を巡り歴史や自然などを楽しみました。



ブドウ狩り体験

10月11日、さくら保育園の園児たちが東山地区のブドウ園地を訪れ、8月に袋がけをしたブドウの収穫体験を行いました。これは、JA中野市ブドウ部会が、体験を通して楽しみながら農産物への理解を深めてもらおうと企画したもので、年長園児20人が招待されました。園児たちは自分で袋がけしたブドウを見つけては嬉しそうに収穫を行い、収穫後には甘く熟したブドウを食べ、おいしいと笑顔に包まれていました。



信州なかの・故郷の味 お披露目商談会

10月24日、長野市のホテルメトロポリタン長野において、「信州なかの・故郷の味お披露目商談会」を開催しました。このイベントは、県内外の飲食店関係者をはじめ、流通事業者などの皆さんに中野市自慢の食材をPRすることを目的に行ったもので、市内の32団体が出展しました。

会場では、生産者や加工業者の展示商談のブースが設けられ、来場された皆さんは食材を吟味しながら出展者と熱心に情報交換していました。